

<第7議案>

役員の改選について（案）

現役員全員が2018年2月11日をもって任期満了となることに伴い、以下の通り、10人の理事候補と2人の監事候補を提案する。定款第10条1項に定められた役員の数は、理事7名以上12名以内、監事2名である。10人の理事候補のうち1人は新任である。

■理事候補（50音順）

池田佳代、佐藤治、沢田正（新任）、茂垣達也、芝野由和、高原孝生、竹峰誠一郎、牧嶋とよ子、山中悦子、湯浅一郎（以上10名）

■監事候補（50音順）

呉東正彦、高木規行（以上2名）

■役員候補の紹介（50音順）

池田佳代（いけだ かよ）

自治体と市民のための「ガイドライン法案」速報（1999年）の取材及び制作を契機にピースデポとの関わりをもつ。「市民が構想する北東アジア安全保障の枠組み」研究補助活動に従事した他、市民向け活動資料「なくなるのはいつ？—未来のためのガイドブック—」の企画制作（2005年）など随時活動に参加。特定非営利活動法人 OurPlanet-TV 設立メンバーで理事（元事務局長）。

呉東正彦（ごとう まさひこ）

弁護士。「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表。横浜弁護士会人権擁護委員会基地憲法部会委員。89年、「ネパの会」会員として米国家環境政策法（NEPA）違反を理由に在日米軍基地をはじめ米法廷に訴える訴訟に参加。94年、横須賀で呉東法律事務所（現・横須賀市民法律事務所）を開設。横須賀市在住。

佐藤 治（さとう おさむ）

神奈川県高等学校教職員組合元書記長。誕生より約40年横須賀ですごす。94年より同組合役員として平和運動を担当。神奈川平和運動センター幹事、「いのくら」基地部会幹事、高校生平和大使神奈川実行委員会事務局などを歴任。現在、三浦半島地区労センター議長。

沢田 正（さわだ ただし）

日本ジャーナリスト会議（JCJ）広島支部事務局長。核兵器廃絶をめざすヒロシマの会（HANWA）事務局長。1949年生まれ。共同通信の社会部畑の記者、デスクなどを経て広島支局長で退社後広島に居つく。2006年からJCJ会員。13年からHANWAの活動に参加、17年から事務局長。

茂垣達也（しげがき たつや）

生協職員。70年代終盤の学生時代に平和活動に関わる。生協の平和活動担当を通して、核問題・被爆者問題・基地問題・平和学習などに取り組む。元生協労連中央委員、単組副委員長を経験。現在はCOOP商品開発に従事。東京都中野区在住。

芝野由和（しばの よしかず）

90年から長崎総合科学大学教員（長崎平和文化研究所運営主任）。専門はドイツ現代政治。刊行物に『ナガサキの平和学』（共著）、ライヒェル『ドイツ過去の克服』、バスティアン『アウシュヴィッツと〈アウシュヴィッツの嘘〉』（共訳）ほか。長崎市平和宣言文起草委員。核兵器廃絶地球市民集会

長崎実行委員。長崎市在住。

高木規行（たかぎ のりゆき）

製造系民間企業勤務。1992年より2007年までニフティ社フォーラム事業にて軍事情報フォーラム運営契約を締結し、様々な軍事研究者の集合体を運営。近年米国で多数の公文書公開が進んだことから、戦後米国の占領期から冷戦期の政策についての研究に重きをおいている。

高原孝生（たかはら たかお）

明治学院大学国際学部教員（担当科目：国際政治学、平和学、軍縮研究）。日本平和学会理事、第5福竜丸平和協会評議員、平和の歴史学会（Peace History Society）国際評議員、パグウォッシュ会議国際評議員。横浜市港南区在住。

竹峰誠一郎（たけみね せいichろう）

1977年生まれ、明星大学人間社会学科教員。グローバルヒバクシャを提唱し、同研究会を創設、共同代表の一人。単著に『マーシャル諸島 終わりなき核被害を生きる』（新泉社、2015年）、共著に『核時代のマーシャル諸島——社会・文化・歴史、そしてヒバクシャ』（凱風社、2013年）などがある。日本平和学会理事、「原爆の図」丸木美術館評議員。博士（学術）。

牧嶋とよ子（まきしま とよこ）

2001年、市民事業のNPO立ち上げに参加。04年～12年、座間市議会議員。米軍再編による基地機能強化反対運動に関わる。08年～12年、「米陸軍第1軍団のキャンプ座間への移駐を歓迎しない会」共同代表。地域政党神奈川ネットワーク運動・座間市民ネット代表。13年～15年、神奈川ネットワーク運動・政策部長。現在、調査政策室に所属。

山中悦子（やまなか えつこ）

かながわ国際政策推進懇話会副会長、開発協力NGO（特活）草の根援助運動理事。「すべての基地にNo!を ファイト神奈川」、「WE 21 ジャパン・平和チーム」に参加し、地域をベースに反核・平和運動に取り組む。横浜市在住。

湯浅一郎（ゆあさ いちろう）

環瀬戸内海会議共同代表、辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会顧問、ピースリンク広島・呉・岩国会員。専門は海洋物理学、沿岸海洋環境学。著書に『海の放射能汚染』、『原発再稼働と海』、『平和都市ヒロシマを問う』、『科学の進歩とは何か』など。東京都小金井市在住。

<補足説明>

■代表、副代表は、本日、選出される理事の互選により選任する。

■話し合われている運営体制

代表： 山中悦子、湯浅一郎

副代表： 池田佳代、高原孝生

■特別顧問

08年、特別顧問に就任した梅林宏道は、同顧問を継続する。「核兵器・核実験モニター」の主筆、イアブックの監修者、次世代基金委員会の仕事を行うとともに、求められたときに可能な協力を行う。また、ピースデポの共同プロジェクトである「さい塾」を塾長として主宰する。

—以上